

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



わー！冷た〜い！歓声があがるプールあそび



特集

開かれた議会へ 大きく躍進！

- 議会改革度県内 1 位 2 ~ 3
- 第 2 回定例会の主な審議 4 ~ 5
- ここが聞きたい！一般質問 6 ~ 9
- 市政に活かせ！政務活動費 10 ~ 13
- 常任委員会報告 14 ~ 16

第 68 号

平成 26 年 (2014 年)

8 月 8 日

発行責任 福岡県古賀市議会

大きく躍進!

初の議会報告会

チーム議会で開催へ

市民に開かれた市議会を目指し、初めての議会報告会の開催に向けて、幹事会を設け協議してきました。

検討経過を報告します。

第1回幹事会 4月30日

会長に内場恭子議員、副会長に船越義彰議員を選出。

多くの市民が参加できるよう、開催日時、場所、会場を検討し、週末に3会場で19時から開催することや、担当者の配置を協議。

第2回幹事会 5月21日

各自の所属班、作業分担、サポート体制、ポスター・チ

ラシを検討。

第3回幹事会 5月29日

ポスター・チラシの配布計画、当日の配布資料を検討。

第4回幹事会 6月12日

当日の時間配分、各班の事前打ち合わせを検討。パワーポイント試作版を試聴・検討。

第5回幹事会 6月20日

各班の司会など配置を集約。報告資料の作成者、提出日を確認。

第6回幹事会 7月1日

リハーサルの日程を確認し実施しました。



手作りポスターでお知らせ

政策推進会議もスタート

テーマは「防災対策と議会の役割」

議会基本条例による政策推進会議がスタートしました。

第1回推進会議を5月21日

政策推進会議は、市民の要望や重要な市政の課題を、政策にするために設けています。構成員は、議長を除く全

に開催し、今年度の研究テーマを「防災対策と議会の役割」に決定しました。平成26年末に向け、研究、協議を進めることにしています。

議員です。



議会の防災対応を検討中
 (議員互助会で防災ユニフォームとヘルメットを揃えました)

開かれた議会へ

市議会改革度ランキング(福岡県内)

順位	2012年順位	自治体名	議案賛否の公開	議会報告会 開催規定の有無	条例の議員提案
1	12	古賀市	◎	◎	1
1	5	小郡市	○	◎	0
3	6	北九州市	×	○	1
4	3	豊前市	◎	◎	0
5	4	田川市	○	◎	0
6	2	大牟田市	会派単位 毎に公開	◎	0
7	1	宗像市	◎	◎	0
8	13	太宰府市	×	◎	1
9	27	筑紫野市	◎	◎	0
10	11	うきは市	×	◎	0

※項目は抜粋です

議会運営改善度ランキング(全国)

順位	2012年順位	自治体名	都道府県名
1	5	四日市市	三重県
2	83	山陽小野田市	山口県
3	277	奈良市	奈良県
4	14	会津若松市	福島県
5	7	所沢市	埼玉県
6	4	名古屋市	愛知県
7	426	古賀市	福岡県
8	360	久慈市	岩手県
9	11	亀岡市	京都府
9	5	嬉野市	佐賀県

議会改革度県内

1位

議会運営改善度は全国

7位

古賀市議会は、第3回地方議会改革度調査の総合評価で県内1位、九州・沖縄では4位(全国46位)にランキングされました。この調査は日本経済新聞社産業地域研究所が、平成26年に全国813市区議会を対象に行い、議会

の情報公開、議会への住民参加、議会の運営方法などの分野28項目について審査されました。古賀市議会では、これまで一問一答方式、議会のインターネット中継録画配信、市

議会、たよりの、議員別賛否一覧や、討論も公開してきました。平成26年4月に施行した議会基本条例は、議会報告会の開催、政策推進会議の設置、自由討議などを盛り込み、市民に開かれ、議会での一層の

政策論議が進むよう努力しています。これらの点が評価され、議会運営の改善度では全国7位と大きく躍進しました。

第2回定例会の主な審議

平成26年第2回定例会（6月10日～6月25日）議案審議の中から概要を報告します。

自治体の憲法

古賀市自治基本条例（仮称）

策定委員会を設置

第4次古賀市総合振興計画に基づき制定する古賀市自治基本条例（仮称）の内容や素案などを検討する委員会を設置するための条例で、総務委員会に付託しました。

策定委員会では、附属機関としての位置づけ、委員30人の構成、無作為抽出の市民15人の年齢、男女の別、地域バランス等について審査しました。

審査後、委員による自由討論を行い、市の附属期間としての位置づけや市長の諮問などを記載し、丁寧で分かりやすい条文にしたほうが良かったのではないかと、要綱で規定している自治体もあり、条例として議会に提案したことは評価

採決の結果、賛成全員で可決しました。

消防団員の処遇改善に

条例の一部改正

国の法律施行令に基づき、消防団員の退職報償金を増額し処遇改善を図るとともに、階級区分の部長を削除するための条例の一部改正で、総務委員会に付託されました。

委員会では、退職報償金の近隣自治体との比較、消防団への入団促進策等について審査しました。採決の結果、賛成全員で可決しました。

退職報償金 新旧対照表

階	級	勤務年数 15年～20年	
		現行	改正案
分	団 長	現行	363,000
		改正案	413,000
団	員	現行	284,000
		改正案	334,000

表は分団長、団員の一例

障がい者の社会参加と雇用促進に

平成26年度一般会計補正予算 約1387万円を可決

今回の補正は、県の緊急雇用創出事業を活用して、障がい者就労体験促進事業委託175万円・障がい者就労促進事業委託約1212万円を新規事業で取り組むものです。

補正予算特別委員会では、

事業の継続性には課題があるが、障がい者の社会参加、就労促進の意義がある。障がい福祉サービス事業所の雇用促進や新規参入等が期待されるとの賛成討論があり、採決の結果、全員賛成で可決しました。

議員全員協議会を開催

保育所新設に関する説明を受ける

6月25日、竹下市長から、舞の里保育所整備に関する第1回定例会での「決議」について、経過報告をしたいとの申し入れがあり、議員全員協議会を開催し、報告を受けました。

「決議」では、地元住民・市民の理解を得る説明、保育事業関係者への説明と信頼関係確保、交通安全対策の3点を求めるとともに、合意形成を図り慎重に事業を進めることを求めています。

執行部より、説明会開催、保育所関係者への説明、交通量調査を経て、計画通り進めたいとの報告を受けました。質疑を行いました。執行部に対して、引き続き説明を尽くし事業を慎重に進めることを、再度求めました。

請願

26年 請願1
 「少人数学級の推進」、「義務教育費国庫負担制度の充実」を国の関係機関に求める意見書の提出に関する請願

この請願は、小学校3年生以上の35人以下学級の早期実現と、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、教育予算の充実と義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書を国の関係機関に提出を求めるものです。文教厚生委員会に付託し審議しました。採決の結果、賛成全員で採択しました。

請願者 田中恵子
 紹介議員 田中英輔
 前野早月



お詫び

こが市議会だより第67号の5ページの平成26年度予算の記事の中で、水道事業会計に対する西尾耕治議員の賛成討論の記事が漏れがありました。お詫びいたします。

意見書

「少人数学級の推進」、「義務教育費国庫負担制度の充実」を求める意見書

この意見書は、「26年請願1」の採択を受けて、議員提案による意見書の提出です。賛成全員で可決し、国の関係機関に提出しました。

提出者 文教厚生委員会
 委員長 芝尾郁恵

陳情・要望

地方自治体における政党機関紙「しんぶん赤旗」の勧誘・配布・販売について自治体独自の実態調査及び是正を求める陳情（5月18日）

陳情者 小坪慎也

平成26年第2回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期：平成26年6月10日～6月25日

号数	議案名	結果	賛成	反対	倉掛小竹	許山秀仁	前野早月	清原哲史	阿部友子	田中英輔	内場恭子	芝尾郁恵	結城弘明	三好貴一	姉川さつき	仲道誠明	高原伸二	吉住長敏	飯尾助広	船越義彰	西尾耕治	奴間健司	
29	専決処分（古賀市税条例の一部改正）	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
30	専決処分（古賀市国民健康保険税条例の一部改正）	可決	16:1		○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
31	専決処分（古賀市道における下水道施設管理瑕疵に対する損害賠償）	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
32	専決処分（古賀市道における道路管理瑕疵に対する損害賠償）	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
33	古賀市自治基本条例（仮称）策定委員会条例の制定	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
34	古賀市職員の配偶者同行休業に関する条例の制定	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
35	古賀市公共下水道区域外流入受益者分担金に関する条例の制定	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
36	古賀市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
37	平成26年度古賀市一般会計補正予算（第1号）	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
38	古賀市土地開発公社定款の一部を変更する定款	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
39	市道路線の認定	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
40	市道路線の変更	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
請願1	「少人数学級の推進」、「義務教育費国庫負担制度の充実」を国の関係機関に求める意見書提出に関する請願	採択	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
41	「少人数学級の推進」、「義務教育費国庫負担制度の充実」を求める意見書の提出	可決	17:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順（■は議員提出議案）

議長職のため、表決に参加しない

松島岩太議員は、一身上の都合により、5月26日付けで議員辞職しました。

一般質問

「こが」が聞きたい！
 一般質問

企業誘致の促進について市長の考えを
 (答) 新しい組織体制で今まで以上に強化して



高原 伸二
 (政風会)

問 平成23年発足の企業誘致推進本部の実績は。

建設産業部長 企業誘致推進本部として、企業を回ったことはない。

問 これからも、その企業誘致推進本部でやっていくのか。

市長 本年度から新しい組織体制で、今まで以上に強化し、連携を図り情報協議を行い、力を入れて推進していく。

問 これまでの推進体制との違いは何か。

商工政策課長 市全体の

含め、駅東口を大きく夢を描けるよう、市民の意見を伺いながら進めていく。

問 現在「玄望園」は係争中だが進捗は。また、民間業者の係争に市の税金を使うことがあるのか。

建設産業部長 市としては、玄望園エリアについては、開発を進めたいが、係争中なので見守っている。併せて都市区画整理事業の準備組合設立の話をしているので、市で支援ができるか協議している。

問 新しい体制の中で、企業誘致は実現するのか。

建設産業部長 粛々と進めていく。

問 古賀市の将来像について市長の考えは。

市長 研修棟の建て替え、周辺道路の整備を



開発が進む篠林地域

首長の教育介入強化の改正への見解は
 (答) 教育の政治的中立性、継続性を確保



内場 恭子

問 教育法改定は、教育への首長の介入を強化し首長任命の「新教育長」が教育委員会トップに。教育委員会を形骸化し、首長が策定した教育方針「大綱」を教育委員会に具体化させるもの。教育の独立性・中立性を確保できるのか。

市長 教育の政治的中立性、継続性を確保し、責任の明確化や迅速な危機管理体制構築を図る。総合教育会議で市長と教育委員会が、「大綱」を策定する以外は従来どおり。教育長には、事業継続と充実で、評価の維持を図ってほしい。

問 首長が変わるたびに教育現場が変わり、混乱が

生じては教育の独立性や中立性は損なわれる。被害者は子どもたちと学校現場では。

教育長 首長の意向、権限が強くなった。首長次第というところもある。

市長 市長は高い倫理観を持たなければならぬ。より理想的な教育行政を目指したい。

問 教育委員会活性化が求められる。市民の意見や要望を聞くシステム作りの財政支援を進めてほしい。少人数

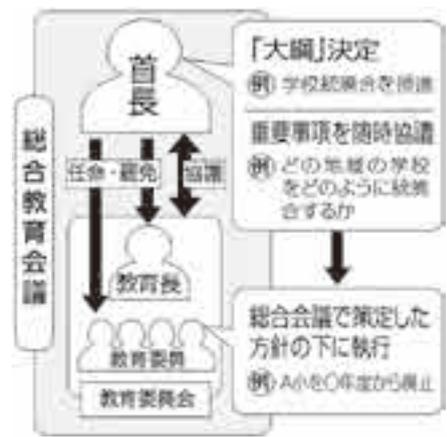
数学級拡大や平和教育、教室エアコンの設置などが不足。小1プロブレムや心の相談員な

どの人的配置の継続と拡大をしてほしい。同和教育は直ちにやめるべき。

古紙類回収庫の増設を
 問 ごみ減量と資源化の現状は。中央公民館に古紙類回収庫の増設を。

市長 ごみ減量や資源化は定着。リサイクル率は横ばい。古紙類回収倉庫の増設は検討したい。

問 利用しやすい地域・育成会の分別収集や資源ごみ回収ボックスの増設が求められる。



首長の考えで教育も変わる

◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。

どう進める。老朽化する公共施設の維持管理

(答) 公共施設等総合管理計画を策定する



田中英輔
(山海会)

公共施設の老朽化が課題と答弁された。古賀市も

高齢化、人口構造の変化が進む、施設の維持管理への反映は。

問 公共施設の老朽化が問題になっている。対応策の長寿命化・更新計画はどう管理しているか。

市長 市の橋梁、下水道、公園、市営住宅などの長

寿命化計画は、所管課で管理している。

問 進行中の長寿命化・更新計画は、平成27年から平成35年までで約28億

円である、今後の予測は。

財政課長 計画は財源不足で順調ではないが、予算の裏付けなどができれば計画的に実行できる。

問 施設の現況・進捗管理は利用しやすい公共

サービスの提供や健全な財政につながる。計画の点検を要望する。市長は

とに、計画を策定する。

節目の年を平和行政の新たなスタートの年に

問 平成27年は戦争終結から70年。非核・恒久平

和都市宣言から30年の節目の年である。平和促進事業を積極的に進める方針を。

市長 これまでも取り組んでおり、今後も一層の周知啓発に努める。

単位：千円

計画名	計画年度	計画期間	計画額
市営住宅	平成26年	10年	429,600
橋梁	平成23年	10年	444,400
中央公民館	平成23年	10年	570,000
公園の改築・更新	平成24年		282,360
下水 管渠(かんきょ)	平成24年	5年	87,400
水再生センター	平成24年	5年	507,800
水道老朽管更新	平成25年	10年	2,100,000
学校給食センター	平成17年		136,234
合計			4,557,794

古賀市の公共施設の長寿命化・更新計画 (概算)

男女共同参画社会の形成は進んでいるか

(答) 全庁的に施策を推進し取り組んでいる



阿部友子
(明友会)

層充実していく。

問 男性職員の育児休業取得は。

市長 平成22年に1人、平成26年に1人取得している。

問 性別役割分業意識は改善されたか。

市長 内閣府の調査からみてもまだ根強く残っている。今後は、出前講座等あらゆる機会をとらえて積極的に啓発活動を実施していく。

問 女性の活躍推進福岡県会議の宣言は。

市長 平成26年2月に宣言登録した。平成28年までに審議会等男女

それぞれが40%以上に、平成32年までに市

の管理職に男女それぞれ30%以上で構成するように確実に推進していく。

美しい景観づくりを

問 良好な景観は地域に対する愛着やふるさと意識を育み、潤いと安らぎを与えるなどの効果がある。市の取り組みは。

市長 景観セミナー、古賀の魅力再発見コンテストなど興味関心を高める取り組みをしてきた。今後は、景観を守るための実行的施策を検討する。



男女共同参画は日本社会の未来にかかる課題

一般質問

美明地域の校区コミュニティのあり方を問う

(答) 通学区と一体で活性化したい



吉住 長敏
 (希来里)

として考えている。

問 総合振興計画でも自治会・校区コミュニティ・市の役割を整理するとある。さらに生涯学習基本計画でも、小学校区を単位とした校区コミュニティ基盤のまちづくりを市が働きかけてきた経緯がある。小学校の通学区と校区コミュニティは一体であるよう市はリードすべきでは。

問 生涯学習基本計画(10年)でも子どもを中心とした校区エリア、中コミをベースに全世代に発展すべきとの提言がある。所見をうかがいたい。

問 生涯学習基本計画(10年)でも子どもを中心とした校区エリア、中コミをベースに全世代に発展すべきとの提言がある。所見をうかがいたい。

問 美明地域の計画人口と現状、今後の見通しは。
 市長 既存集落含めて2800人の計画人口。現在は1885人、約67パーセント。ししづ駅周辺などで今後さらに増加する。

問 美明地域の集会所等の予定地は。
 教育長 平成23年度に、美明2丁目と3丁目に確保した。分区にともなう公民館建設に備える。

問 身近な生活圏についての見解は。国交省や市も市の高齢者保健福祉・介護保険計画でも一定の基準があるようだが。
 地域コミュニティ室長 生活圏とは、小学校区域

として考えている。
 問 総合振興計画でも自治会・校区コミュニティ・市の役割を整理するとある。さらに生涯学習基本計画でも、小学校区を単位とした校区コミュニティ基盤のまちづくりを市が働きかけてきた経緯がある。小学校の通学区と校区コミュニティは一体であるよう市はリードすべきでは。
 問 生涯学習基本計画(10年)でも子どもを中心とした校区エリア、中コミをベースに全世代に発展すべきとの提言がある。所見をうかがいたい。
 問 生涯学習基本計画(10年)でも子どもを中心とした校区エリア、中コミをベースに全世代に発展すべきとの提言がある。所見をうかがいたい。

総務部長

問 現在の地域防災マップでは美明地域住人の広域避難場所は、JR線路をまたいだ古賀西ブロックの古賀西小学校グラウンドとあるが適切か。

古賀西及び花鶴校区の小コミ別人口等

中コミ(行政区)	人口	備考
古賀西	1,398	
古賀北	2,841	
古賀南	2,042	
古賀東	1,048	
古賀西	3,671	1,487
古賀西校区		
3丁(美明)丁目	700	211
3丁(美明)丁目	788	231
3丁(美明)丁目	418	127
3丁(美明)丁目	1,814	525
校区計	11,301	
古賀東	1,134	
花鶴北1	308	
花鶴北2-1	255	
花鶴北2-2	1,511	
花鶴北2-3	378	
花鶴北3	1,358	
校区計	4,934	

古賀西・花鶴校区の人口

地域経済活性化の評価は

(答) 活性化に向けた気運が高まっている



前野 早月
 (希来里)

運用改善の評価と課題。

市長 「第2次古賀市環境基本計画」や「第2次古賀市ごみ処理基本計画」、「古賀市循環型社会研究会」の答申で、今後の方向性が示され、次のステップに進んだことは一定の評価。課題としては、着実に実現できるよう、工夫を凝らす必要がある。連携や協働での取り組みも重要。

問 コミュニティなど市民参画の評価と課題は。

市長 審議会への市民参加やパブリックコメントなどで、市民意見を施策に反映させている。今後の課題は、地域づくりを推進する人材の育成、役立つ情報

問 地域経済活性化の評価と課題は。
 市長 農業、商工業、企業誘致、観光の活性化について、積極的に取り組んできた。さらなる市経済の発展に、工業や商業、住宅など土地利用の効果的な展開は欠かせない。引き続き積極的に取り組んでいく。

問 この3年間で、地域経済は、前進、停滞、後退のどれか。
 市長 活性化に向けた気運が高まっている。

問 農業農地は守るか。
 市長 農地を守ることも大事。調和のとれた地域活性化を慎重に進める。

問 環境問題、清掃工場



農地を守り調和のとれた活性化を

◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。

3月議会の新設保育所問題の決議は (答) 真摯に対応をしている



許山 秀仁
(自由)

問 地元での保育所建設反対3千5百人以上の署名については。
市長 真摯に受け止めている。

問 私立保育園との協議は行われているのか。
子育て支援課長 月一回の定例会で説明をしている。一致点は見い出せていない。
問 建設予定地の交通は安全が確保できるのか。
子育て支援課長 安全であると断言できる立場ではない。

問 今回の新設保育所問題はまったく納得がいかず、計画の進め方とは言いえない。今まで古賀市保育行政の一端を担ってきた、私立保育園や幼稚園との信頼関係を根底から失うもの。また、地元無視の政策であり、到底住民の理解を得られるものではない。行政としての責任を果たしておらず、明らかに間違っていると言わざるを得ない。今回の舞の里地区における新設保育所計画は、一旦見直し、必要であれば閉園になった園を一定期間公営で運営し、その間、私立保育園と平成27年度以降の保育所計画を協議し、作り上げることが責務と考えるが。
市長 説明責任を果たすために努力をしてきた。市のほうからも何度もお詫びを申し上げた。待機児童を出さないため、子育て世代の定住化を進めるためにも今回の保育所

建設には、ご理解を願いたい。

問 今回の新設保育所の認可、建設は、市の一方的な判断だと思う。もつと地元の方と協議を重ね、保育行政を本当に把握し、今まで協力してくれた保育園の方々にも感謝をし、保育行政を進めることを希望する。



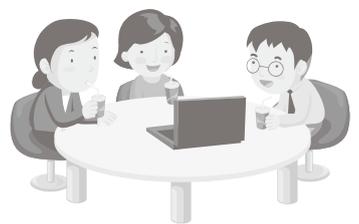
問題になっている保育所建設予定地

一般質問

平成26年古賀市議会 第3回定例会会期日程(案)

会期 8月28日～9月25日 29日間

インターネット議会中継・録画配信中



25	22	19	18	17	12	11	10	9	8	5	4	3	2	9/1	8/28	日
木	月	金	木	水	金	木	水	火	月	金	木	水	火	月	木	曜
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	9時30分	開議時刻
本会議(最終日)	議会報編集特別委員会	〃	〃	〃	〃	決算審査特別委員会①	〃	〃	一般質問	補正予算審査特別委員会	〃	〃	常任委員会	本会議(二日目)	本会議(初日)	会議名
		⑤	④	③	②	①										

表彰

平成26年5月28日に開催された全国市議会議長会総会で5人の議員がそれぞれ表彰されました。

また糟屋地区議長協議会においても同様に表彰されました。

議員在職15年以上
内場 恭子、許山 秀仁

議員在職10年以上
松島 岩太、西尾 耕治(辞退)

結城 弘明、前野 早月

芝尾 郁恵(辞退)

注) 会期日程は、8月25日(月)の議会運営委員会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。
 ◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議会議録」に収録されています。また、議会ホームページでもご覧になれます。会議録は、議会事務局で販売閲覧、市立図書館で閲覧できます。
 ◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができます。(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席は原則5～10席です)
 ◎請願書の締切りは8月21日(木)午後5時です。

◇一般質問の掲載は通告届け出順です。

平成 25 年度 政務活動報告

調査 研修を市政に活かす!!

政務活動費は月1万円、年間12万円です。ここでは一部抜粋で概要を掲載しています。全ての報告は議会事務局にて閲覧ができます。

三好 貴一

(山海会)

●水平社博物館

奈良県御所市の水平社博物館見学、部落問題の一つである人権問題について、水平社運動発祥の地にある「水平社博物館」で視察研修し、人権問題についての認識を深め、あらゆる差別解消をはじめとする古賀市の人権施策に活かす。

●大阪人権博物館

豊かな人権感覚を育むための「人権に関する総合博物館」として、関係資料や文化財を収集し、保存し、これらを展示公開することにより、人権意識の伸長と啓発及び人間性、社会性の養成に資することを目的として建設されました。

資料展示やイベントを通して、人権啓発や人権意識の向上に寄与されています。

人権は、まちづくりの基本です。人権平和施策の充実を求め、課題解決のために努力したいと思えます。

政務調査報告

許山 秀仁

(自由)

結城 弘明

(政風会)

高原 伸二

(政風会)

●『古賀市における、農地・市街地の開発』

農林水産省

「古賀市の農用地の使い方」

- ・ 農業振興地域の区分と農業地域外、許可権者、第一種農地、第二種農地、第三種農地、市街化区域の説明。
- ・ 農業振興地域制度の目的は農業を振興すべき地域の指定と、当該地域の農業的整備のための施策の計画的推進を図り、農業の健全な発展と国土資源の合理的利用に寄与するためにあること。
- ・ 農地転用許可制度では、優良農地を確保するため農地の優良性や周辺の土地利用状況等により農地を区分

し、転用を農業上の利用に支障が少ない農地に誘導するとともに、具体的な転用目的を有しない投機目的、資産保有目的での農地の取得は認めないこと。

・ 市街化区域編入の決定手続きについての説明。

以上等について、農林水産省の職員3人から学びました。

国土交通省

「古賀市の開発事業」

・ 市街地再開発事業の仕組み

効果、事業の種類（第一種・第二種市街地再開発事業）、事業の施行区域用件、事業の流れ等。

・ 土地区画整理事業の仕組み

減歩での土地提供、税金のかからない換地、残地の問題が発生しない等。

・ 市街地整備手法の比較

街路事業（買収方式）、市街地再開発事業、土地区画整理事業、事業への支援

（助成他）

・ 中心市街地の活性化の事例

宮崎県日向市（日向市駅周辺地区）

一、富山県富山市（富山駅北口地区）

二、JR高槻駅北東地区

その他事例

一、銚ノ町地区（山形県天童市）

二、JR久留米駅前第一街区

第一種市街地再開発事業（福岡県久留米市）

三、勝田駅東口地区第一種市街地再開発事業（茨城県ひたちなか市）

以上等について、国土交通省の職員3人から学びました。

大変難しいテーマではありますが、「本気でやろう」という気がどれだけあるにかにかかっていると思われま



国土交通省、農林水産省、厚労省に学ぶ

西尾 耕治

(公明党)

- 鹿児島県霧島市
 - ・バイオマスタウン構想・タブレット端末
- 佐賀県杣市サガハイマツト重粒子線がん治療について
- 市町村アカデミー(千葉)
 - ・地方議会改革・国と地方の財政・PPPと地方経済ほか
- 東京都視察
 - ・東京都港区「芝の家」
 - ・多世代間の交流施設と政策
 - ・東京都練馬区 国産自動車交通(株)
 - ・キッズ安心タクシー認定制度
 - ・東京都板橋区 板橋イナリ通り商店街
 - ・板橋アイアイプロジェクトによる商店街の空き店舗対策
 - ・東京都板橋区 板橋区立エコポリスセンターの環境政策
- 地方議員研究会セミナー
 - ・職員の人材育成と分限処分
- 福岡県柳川市
 - ・「大牟田・柳川・みやま結婚サポートセンター」を視察

芝尾 郁恵

(公明党)

- 鹿児島県霧島市
 - ・バイオマスタウン構想
 - ・議会基本条例、タブレット端末の活用などを学ぶ
 - 徳島県阿南市
 - ・「日本女性会議」に参加。
 - ・男女共同参画社会に向けた全国の先進的な取り組みを学ぶ。
 - 福岡県柳川市
 - ・婚活で成果をあげている
 - ・「大牟田・柳川・みやま結婚サポートセンター」を視察。
- 先進地の取り組みを古賀市に反映できるよう努力します。



少子化対策、定住化促進に向けて

仲道 誠明

(明友会)

- 研修会・自治体における歳入確保
 - ・2050年には、公共施設の維持管理・更新費用は2倍と予測されている。
 - ・その対策として、
 - ・民間経営手法等の導入による費用対効果の厳密管理
 - ・公共施設マネージメントに注力し財源確保に努める
 - ・会計に強い人材の確保
 - ・等が考えられる。
- 精神保健福祉研修会(大分)
 - ・制度改革後の家族の状況と家族支援について
 - ・訴える場を確保する為には当事者、家族がまとまること。
 - ・病院から地域への移行は重要だが地域基盤が未整備だ
 - ・雇用促進に関する法定雇用率を上げることについて経団連が反発している。中小企業への公的支援が必要

阿部 友子

(明友会)

- 松本市・佐久総合病院視察研修
 - ・健康寿命の取り組みについてと在宅医療連携拠点事業の取り組みについて
- 自治政策講座受講
 - ・進む人口減少と自治体の政策について学習
- 全国市議会議長会研究フォーラム参加
 - ・地方議会改革、住民自治の実現と地方議会への期待、公務活動費について研修
- 市町村議会議員特別セミナー受講
 - ・地方議会改革の現状と今後への期待について学習



在宅医療の拠点である佐久総合病院

松島 岩太

(自由)

- 国土交通省と農林水産省、厚生労働省を視察
 - ・国土交通省では、土地区画整理事業と市街地再開発事業について、農林水産省では農業振興地域制度の概要と農地転用の許可制度について説明を受けました。古賀インターチェンジ周辺を想定しての視察でありましたが、具体的な全国の例を示していただき、また国費の流用等の大変参考になりました。
 - ・厚生労働省では、子ども子育て関連3法について、また介護と連携した在宅医療体制整備について説明を受けました。
- 古賀市では保育所新設問題が大きな課題であり、新法施行への移行期間の難しさや大都市と地方の相違点について問題点が浮き彫りになりました。また在宅医療体制の整備については、非常に重要な課題であり、財源確保の取り組みが求められます。

吉住 長敏

(希来里)

●議員活動の見える化へ

年4回の定例会、所属委員会などの活動内容の見える化、個別の政策でも日常からの政策提言に主眼を置いています。

時には息抜きをかねた街角の話題提供にも目を向け、市政への関心興味の「耕し」テーマで、二本立ての情報発信経費の一部に充てました。

●毎日『ぼっしょんブログ』

IT時代に即応した『ぼっしょん』(情熱)ブログ。毎日複数発信が目標です。

昨年4月〜今年3月末まで年間688回投稿。

今年6月中旬で通算(2000)を更新中です。

●毎月『ぼっしょん通信』

ブログ情報のA3二折4面の編集を基本にカラーとモノクロ2種類を毎月末に定期発行しています。今年6月号で通算50号を発行しました。

●鹿児島県霧島市

「議会運営・タブレットの活用」

清原 哲史

(希来里)

前野 早月

(希来里)

●長野県松本市・佐久総合病院視察 ※2人共通

●水平社博物館・大阪人権博物館視察

●全国都市問題会議に参加

※前野のみ

【長野県の健康長寿に学ぶ】

6人の議員で、長野県松本市と佐久総合病院を視察、健康長寿の取り組みと地域医療の実践を学びました。

松本市は、「健康寿命延伸都市・松本」の実現に向けて、人口約24万人に対して保健師80人を雇用。さらに、地域活動の拠点となる地域福祉ひろ

政務調査報告

ばを35カ所に設置し、地域担当保健師による健康相談、健康づくり事業を実践。相談内容に応じて、直接、市役所につなぐなど、切れ目のない連携が特徴でした。

佐久総合病院は、地域住民の健康管理、在宅医療、訪問介護の歴史があり、地域の健康寿命日本一を支えています。顔の見える多職種連携、関係機関のコミュニケーションの重要性を強調されました。

田中 英輔

(山海会)



若い見学者が多かった『リバティおおさか』

●水平社博物館(奈良県御所市)

●大阪人権博物館

●議会報告の作成と配布

水平社博物館・大阪人権博物館(リバティおおさか)視察古賀市は人権のまちづくりの推進を掲げています。

たくさん若い人が人権博物館を訪れていました、将来を担う若者への取り組みが大切な課題だと感じました。

議会毎に議会報告を作成し報告しました。

倉掛 小竹

(山海会)

●健康施策と医療機関連携(松本市・佐久市)

●学童保育指導員資格認定講習会(全10回)

●「こどもカフェ」2回開催

●成年後見制度市民学習会

超高齢化を目前に、古賀市でも元気に安心して暮らせる取り組みが必要です。健康寿命延伸の松本市や医療、介護、福祉が一体となった佐久市の取り組みを視察しました。

また、広く市民とともに学びあう機会を持つために「成年後見学習会」、市民版「子ども・子育て会議」と銘打った「子どもカフェ」を開催しました。



地域医療の実践を学ぶ(佐久総合病院)



NPO 市民後見センターの出前講座

船越 義彰

(自由)

飯尾 助広

(自由)

姉川 さつき

(自由)

●**東京都 衆議院議員会館**

・総務省「活力ある地域づくりを通じて新しい成長の実現」
・国土交通省「都市計画区域の整備計画のあり方」

●**市町村アカデミー**

「地方議会改革の現状と今後への期待」
「国の財政と地方財政」
「TPPと地域経済」
「これからの政治の行方」

●**東京都視察**

・東京都港区
地域交流館「芝の家」
・東京都練馬区
「キッズ安心タクシー」認定制度
・東京都板橋区
「板橋アイアイプロジェクト」

「板橋区立エコポリスセンター」

・東京都文京区

「東京都水道歴史館」

※飯尾のみ

●**鹿児島県霧島市**

「議会運営・タブレットの活用」

●**徳島県阿南市**

「日本女性会議2013阿南」

※姉川のみ

●**東京都 足立区役所**

・「足立区孤立ゼロプロジェクト」とそれについての条例。

※3人共通

「足立区孤立ゼロプロジェクト」の背景は、単身世帯や高齢者のみの世帯が増加する中、さらに血縁関係の希薄化、

地域の衰退、人と人とのつながりが薄れてきたことにあります。推進するためには個人情報

情報の壁を突破する必要があります。そのためには条例の整備が必要

です。古賀市においても、見守りから一歩進んだ具体的な政策が必要だと

認識をしました。

古賀市において、見守りから一歩進んだ具体的な政策が必要だと認識をしました。

内場 恭子

●古賀市での未利用の生ごみ処理の推進を

・鹿児島県霧島市にて、バイオマスタウン構想と議会運営(タブレット端末の活用)の現状と活用状況とその課題についてを研修した。

開かれた議会の必要性や古賀市での未利用の生ごみのバイオマス化や、竹などの林地残材のチップ・ペレット化を進め、活用するための課題などを研究した。

●**第36回人権問題夏季講演 「人権から原発を考える」**

(粕屋町)
古賀市から約70キロメートルの距離にある「玄海原発」について、九州玄海原発訴訟弁護団、後藤富和氏の講演「原発再稼動と憲法改正を考える」を聞き、原発問題を研究した。

●**福岡県女性議員ネットワーク研修会**

多治見市の古川雅典市長の講演。人材育成、トップセールス、庁議公表など大変参考となった。

●**霧島市議会視察**

霧島市議会等と合同視察。タブレット端末の活用について先進事例を学んだ。

●**地域公共交通総合研究所 シンポジウム**

岡山市、小嶋光信理事長の講演。準公設民営、赤字補てん型から見込経営努力型への切り替えの必要性を学んだ。

●**松本市、佐久市の健康寿命延伸の視察**

6人で合同視察。松本市では人口24万人で保健師が80人以上という取り組みに大いに刺激を受けた。

奴間 健司

●**福岡県女性議員ネットワーク研修会**

多治見市の古川雅典市長の講演。人材育成、トップセールス、庁議公表など大変参考となった。

●**霧島市議会視察**

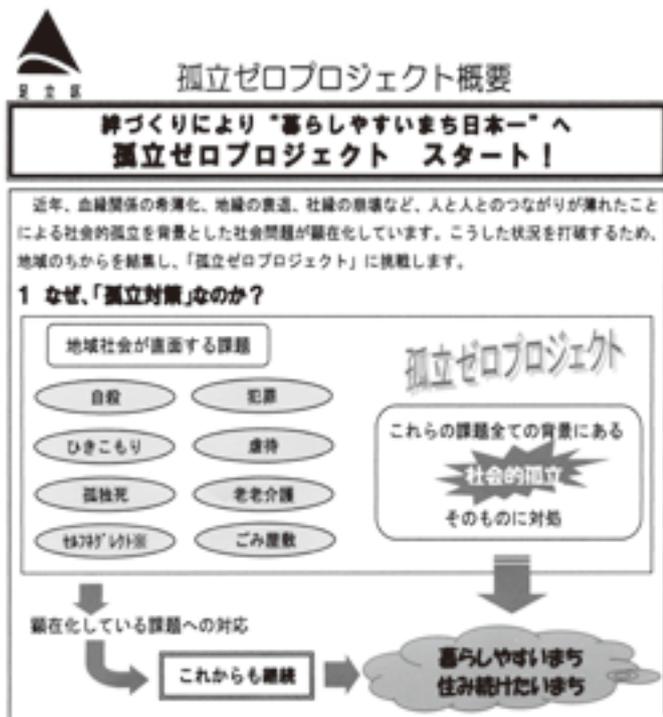
霧島市議会等と合同視察。タブレット端末の活用について先進事例を学んだ。

●**地域公共交通総合研究所 シンポジウム**

岡山市、小嶋光信理事長の講演。準公設民営、赤字補てん型から見込経営努力型への切り替えの必要性を学んだ。

●**松本市、佐久市の健康寿命延伸の視察**

6人で合同視察。松本市では人口24万人で保健師が80人以上という取り組みに大いに刺激を受けた。



住み続けられるまちづくりを目指して



びんころ地蔵 (佐久市)

総務委員会

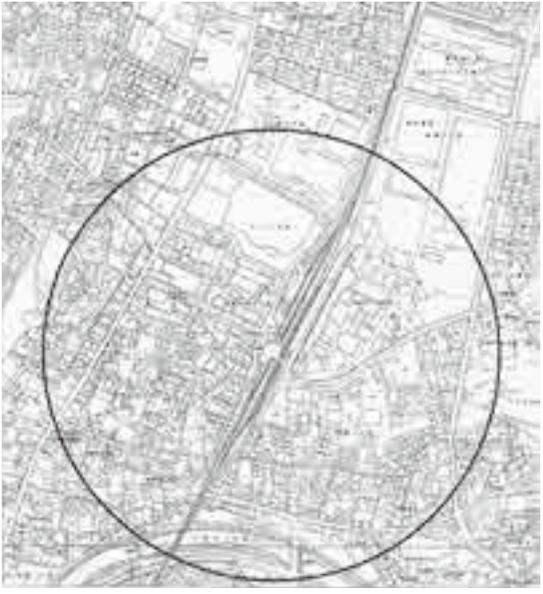
5月9日

- 委員長 内場恭子
 副委員長 田中英輔
 許山秀仁 高原伸二
 吉住長敏 西尾耕治

JR古賀駅東側の将来ビジョン

問 計画に際し、周辺企業の接触はやっているか。
答 トップの面談はあるが、まずはまちづくりを描くのが先と思う。
問 駅周辺の基本的なまちづくりの方向性とは。
答 JR古賀駅東口に新しいまちづくりをすることによって駅西口の方にもいい波及効果を生じる

問 よう期待している。
問 そのスケジュールは。
答 今回はあくまでも基本構想を練る段階。5〜7月まで調査業務。9〜10月にかけて課題の整理を行い、秋以降に基本構想の作成、年明けて実現方策の検討、年度末に成果品の納入を予定している。



JR古賀駅東口構想の基礎調査約50haの範囲

定住化と地域力を推進

問 定住化の促進に関するパンフレットの計画は。
答 1万4千部刷った。以前の「古賀市に住もう」の残冊も活用していく。
問 古賀市は社会動態で3月末、前年比490人減少した。第4次振興計画での見直しが必要では。
答 街部での空き家に住めるような施策も必要。全国的な人口減少の中、福岡都市圏は増加傾向にあり、古賀市も人口増の突出方策を検討する。

問 市内各地で自治会未加入者が増加している。この状況をどう考察しているか。
答 高齢化が一因。輪番制で組長が回ってきたときにできないと、自治会を脱会する状況がある。
問 一部地域が特に加入率が低い要因は。
答 アパートごと加入していないケースが結構ある。区長会でも未加入者にも文書を配るなどの対応もなされている。

マイナンバー制度の今後

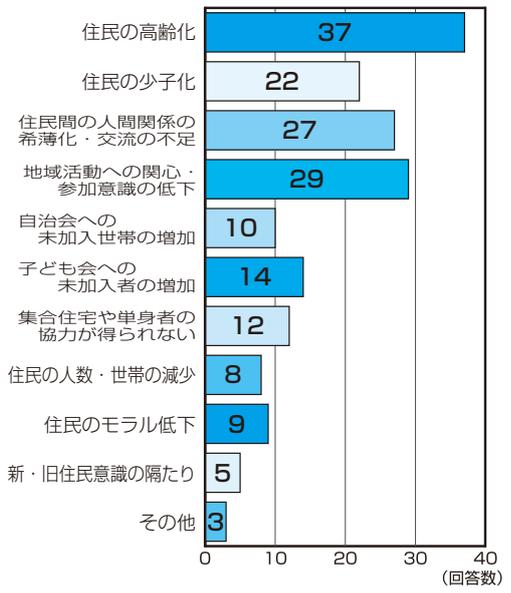
問 人事課行政管理係で所管する理由とは。
答 国からの情報収集と、行財政改革の一つの事業として取り組むため。
問 社会保障と税番号制度の導入と住民基本台帳のカードとの関連は。
答 マイナンバー制度は平成27年10月以降、個人番号が付き、通知。平成28年1月から利用開始の

問 人事課行政管理係で所管する理由とは。
答 国からの情報収集と、行財政改革の一つの事業として取り組むため。
問 社会保障と税番号制度の導入と住民基本台帳のカードとの関連は。
答 マイナンバー制度は平成27年10月以降、個人番号が付き、通知。平成28年1月から利用開始の



マイナンバーカードのイメージ

常任委員会報告



行政区長が回答した自治会の課題

ししぶ駅に防犯カメラ

問 防犯カメラを設置する場所の基準は何か。
答 県のガイドラインがある。不特定多数が出入りする場所で古賀市では、JR各駅に設置する計画を進めてきた。

問 ししぶ駅の乗降客は多くはない。不審者情報の集計等で設置しては。
答 1カ所ので限定的な範囲でしか撮影できないので警察と協議し対応する。

西鉄バス運行報告に誤り

問 西鉄バスの運行経費の消費税分に対応する1・05倍の割戻し計算のシステム上のミスが、年度を過ぎて発覚したことは、契約上からも問題ありと思われる。
答 これまで誤った数字で報告していたことはお詫びする。西鉄の事務体制、原因の究明、今後の対応等で文書提出を求めていく。

問 西鉄バスの運行経費の消費税分に対応する1・05倍の割戻し計算のシステム上のミスが、年度を過ぎて発覚したことは、契約上からも問題ありと思われる。
答 これまで誤った数字で報告していたことはお詫びする。西鉄の事務体制、原因の究明、今後の対応等で文書提出を求めていく。

文教厚生委員会 5月8日・12日

委員長 芝尾郁恵
副委員長 清原哲史
倉掛小竹 阿部友子
松島岩太 姉川さつき

市民後見の充実と高齢者を

地域で見守る体制づくりを目指す

2月27日に開催された、成年後見制度と市民後見人の講座は、民生委員40人を含む81人の参加がありました。参加者からは、制度の必要性を実感する声が多く、約4割の人が市民後見人をやってみたいと前向きな意見でした。6月下旬に、市民後見推進検討委員会を発足する予定です。

また、ひとり暮らし高齢者の身守り活動として、セブンイレブンや生協、郵便局など新たに6つの事業所と協定を結びました。



生協などと連携した見守りネットワーク

保健師と栄養士がチームで地域を担当

今年度新たなヘルスアッププラン推進事業として、保健師、管理栄養士などの3人で、地域担当制をとる試みです。小学校2校区毎で市内を4ブロックに分け、地域主体での健康づくりを目標としたヘルス・ステーション設置を目指します。今年度は舞の里2区をモデル地区にする予定。

市が個々人の健康づくりにかかわる理由は、市の使命は、生涯健康な市民を増やすことと考えている。運動習慣や

食習慣、健診の習慣が柱。具体的な動きは。

健康づくりに取り組みたいと手が挙がった行政区に対し、区長、福祉会、育成会などで輪を作って、ステーション設置までのコーディネート役をする。

休日保育は準備中

登録制で実施予定

休日保育の利用者は、どういう手続きが必要になるのか。

休日勤務の保護者の子どもとして、登録制を考えている。

勤務が毎週でなくても、必要な時は預けられる臨機応変さも必要。

3小学校に扇風機設置

昨年度の青柳、小野小学校に続き、今年度は花鶴、古賀東、古賀西の3小学校の普通教室に扇風機設置工事が行われます。

近年空気環境の悪化などの状況がある。他市町村ではエアコンの設置が進んでいるが、中学校にエアコン設置を検討しては。



快適な学習環境となるか

価格高騰、消費増税で

給食費を値上げ

平成20年から価格を据え置いてきた給食費ですが、食材費の値上がりなどが、給食費を徐々に圧迫。運営努力もしましたが、この消費増税をきっかけに値上げに踏みきりました。

滞納など影響は。小学校1食18円、中学校1食21円の値上げだが今のところ影響は見られない。本市は他市と比べても給食費の納入率が高い。

平成20年から価格を据え置いてきた給食費ですが、食材費の値上がりなどが、給食費を徐々に圧迫。運営努力もしましたが、この消費増税をきっかけに値上げに踏みきりました。

市民建産委員会

5月14日・16日

委員長 飯尾助広
 副委員長 船越義彰
 前野早月 結城弘明
 三好貴一 仲道誠明

清掃工場・し尿処理場

将来構想でバイオマス活用を

平成35年度までの10年間を計画期間とする第2次古賀市ごみ処理基本計画がスタート。事業系ごみ対策では廃棄物排出状況調査、家庭系ごみ対策では、生ごみ処理機の活用追跡調査等が実施。循環型社会形成では、具体化に向けたスケジュール作成中です。

問 既に、啓発の段階から、具体的にどう減らすのかという段階に来ている。マスタープランにあるごみ減量の中期目標をどう達成するのか。

答 基本計画が3月にできたばかり。今は、作業のポリユームの確認を早急にやりたい。

問 海津木苑（し尿処理場）の稼働率は50%を



し尿処理場の将来構想は（海津木苑）

切っている。現在焼却しているし尿汚泥や終末処理場などの汚泥のバイオマス活用を検討し、清掃工場の将来構想と併せて海津木苑の将来構想も練るべき。

答 今後、複数の施設運営の整合性が必要。循環型社会、バイオマス、ごみ処理基本計画の整合性も同様で、今後は、他課との連携が重要になる。

JR千鳥駅東口駅前広場整備

工事完了予定は平成29年度

JR千鳥駅東口の利便性向上と交通渋滞緩和、道路拡幅のため、駅前広場が整備されます。

今年度は詳細設計、平成27年度は用地買収、平成28年度～29年度が工事実施。



拡幅予定道路と駅前広場予定地

篠林新物流団地55%が契約済み

造成工事が完了した篠林新物流団地。交通アクセス向上のため、新宮町に道路を新設することになり、施行は新宮町、維持管理は古賀市という方向性で協議中です。

問 施行が新宮町になった理由は。

答 道路予定地が新宮町の農地であり、法令上、新宮町が整備するほうが早い。

問 開発、造成は終わっているが、契約状況は。

答 半数を超える区画で契約が成立している。創業は早いところで今年中。

米多比地区の水道事業拡張

水道事業では、第10期の水道事業拡張を計画しています。

問 事業拡張の内容は。

答 米多比地区の小野里

団地・小野小学校・市営林田団地を予定。薬王寺団地ルートを経由することにより、将来の同地域の水質対策に備えたい。

市の人口は微減、

少人数・単世帯化が進む

古賀市の人口は、前年度比で490人減で、世帯数は逆に77世帯増えています。特に大きな人口の増減があった地域は、鹿部区が107人の増、病院区が110人の減となりました。

古賀グリーンパークグラウンド改修

古賀グリーンパークのグラウンドの排水機能改善を目的に、改修工事が実施されます。約1万5千平方メートルの表面を10センチメートル程度ほぐして再整地します。

問 工事期間は。

答 グラウンド利用が少ない冬季（2カ月ほど）を予定。



排水改善に期待（古賀グリーンパーク）

全国市議会議長会総会に出席

5月28日、第90回全国市議会議長会総会に出席しました。総会では、地方税財源の充実確保及び東日本大震災からの復旧・復興に関する決議を可決。要望書は6月4日に地元の国会議員に届け要請しました。



全国813市・区議会で構成される全国市議会議長会の総会（5月28日・日比谷公会堂）

北筑昇華苑組合、粕屋北部消防組合が臨時議会開催

5月12日、北筑昇華苑組合議会第1回臨時会が開催され、待合室増築工事請負契約の締結について可決しました。待合室を5室増築するとともにエレベーター、授乳室を設置する工事を行うことになりました。松本建設㈱と1億6038万円で工事請負契約を締結しようというものです。

5月19日、粕屋北部消防組合議会第1回臨時会が開催され、火災予防条例の一部改正、財産の取得の2件を可決しました。火災予防条例改正は、縁日等では各店舗が消火器を準備することを定めました。財産取得は、災害対応特殊消防ポンプ自動車を3175万2千円で購入。契約の相手方は㈱モリタ福岡支店で、配置場所は新宮分署です。

議長 の 活動 報告

奴間 健司

表紙のことは

地元の方の見守りで、夏休みの子どもたちが水あそびを楽しんでいます。

（撮影場所は筵内区のプール）

古賀市森林・林業・林産業活性化促進議員連盟（議員18人で構成）は、5月21日の総会での合意に基づき、6月5日、竹下市長、荒木教育長に個別に面談、要望書を手渡しました。要望書の内容は、リーパスプラザ研修棟の建て替えに伴う（仮称）古賀市生涯学習センター「建築工事」に、内装等の木質化を推進、国産材の利活用を努めてほしいとするものです。可能な限り古賀市で先人たちが育ててきた木材や竹材を活用し、産地表示についても明記しています。



市長へ要望書提出

（仮称）古賀市生涯学習センターに 国産材の積極活用を要望

古賀市議会林産議員連盟

古賀市もすでに「古賀市内の公共建築物等における木材の利用方針」を掲げており、連盟の申し出に、前向きに対応する意向が示されました。今後の実施設計にどう反映されていくか注視していきます。

編集後記

新たな議会報編集委員になって13回目となる「こが市議会だより」第68号。

皆さんのお手元に届くのは、夏真っ盛り。夏休み中の子ども達の歓声、高校野球への熱い声援、ふるさとへのお盆帰省など、楽しい時間をお過ごしの方も多いと思います。

一方で、8月は平和の大切さを再認識する月でもあり、子どもや孫世代のため、不戦と世界平和への誓いを新たにしたいと思います。

古賀市議会は、開かれた議会への改革を進めています。議会報も広報媒体の一つとして、皆さんに読んでもらえる「こが市議会だより」を目指し、研鑽を重ねて参ります。

皆さんにご一読いただき、感想などお寄せいただければ幸いです。（前野）

議会報編集特別委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 前野 早月 |
| 副委員長 | 倉掛 小竹 |
| 委員 | 阿部 友子 |
| 委員 | 田中 英輔 |
| 委員 | 姉川 さつき |
| 委員 | 吉住 長敏 |

市民活動紹介 ボランティア 訪問 ⑮

まちの草の根活動
 紹介しま〜す！



例会でのおしゃべりが楽しみ

「かたろう会」のメンバーは、平成23年に発足・会長渡辺邦彦さんは、コスモス市民講座を受講した60代の団塊世代15人がメンバーです。研修棟やリーパスプラザ周辺の修繕、ソーメン流し、餅つきなどの活動をされています。発足のきっかけは、「男の料理教室」の中で、講師の先生が言われる道具がすぐに理解できなかつた反省から、調理室の備品をわかりやすく整備しようと思ったことからだそうです。気づいたことを自分たちでやる。作業後は楽しく情報交換。



リーパスプラザ前の階段を修繕



かたろう会〜井戸端会議〜

活動を通して元気になろう〜



「かたろう会」井戸端会議（平成23年に発足・会長渡辺邦彦さん）は、コスモス市民講座を受講した60代の団塊世代15人がメンバーです。研修棟やリーパスプラザ周辺の修繕、ソーメン流し、餅つきなどの活動をされています。

い、ポケ防止になるなどの感想があり、活動を通して生きがいを見つけておられるようでした。

皆さん和気あいあいと楽しく語り合い、和やかな会の雰囲気伝わってきました。
 連絡先：渡辺
 09219441332

第2回定例会の傍聴者は63人でした。ありがとうございました。
 第3回定例会は8月28日（木曜日）開催予定です。
 また、インターネットによる中継、録画配信も行っております。



議会掲示板

初めての 議会報告会 3中学校区で開催

議員を3班に分け、地域ごとに議会報告会を開催し、延べ104人の方にご参加いただきました。ありがとうございました。



千鳥苑（7月18日）



谷山公民館（7月19日）



リーパスプラザ（7月20日）